

事業番号	115	事業の名称	講座等企画事業	担当部署	部	課
					教育文化部	中央図書館

事業の目的・概要	(目的) 市民の教養、レクリエーション等に寄与するため生涯学習活動として講座等の企画事業を展開する。 (概要) 乳幼児から小学生を対象におはなし会を開催、一般を対象に講座、講演会、企画展示を開催。 おはなし会(毎月第2,3,4土曜日、毎月第1,3木曜日)、児童書講演会(年1回11/25開催) 図書館講座(年1回講座開催/24年度は講師都合により中止)、現代美術展(年2回10/6-21及び1/26-2/17開催)、中学生美術展(年1回12/12-24開催) 大学等連携事業(年2回11/14-18及び11/16,17開催)、閲覧室企画展示(年16回開催)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全国の公共図書館のほとんどで実施されている。

事業期間	事業開始年度	平成4年度	終了(予定)年度	—							
事業の対象 (だれ、何に対して)	全ての市民と図書館利用者										
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。										
総事業費					総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算	
					うち	一般財源	742	652	745	554	597
						国費・県費	742	652	745	554	597
						地方債					
						受益者負担額	54	6	9	0	45

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		4月~ 7月~ 10月~ 1月~							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
									H24目標値			H24予算	H24決算	H25予算		成果 事業費	
① おはなし会	全ての市民 と図書館利 用者	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	●●●●●●●●●●●●●●●●	延参加者数 3,351人	参加者数	2,846	3,351	人	前年実績(H23年度) からの増加	16	13	ボランティア保険料 15	A	現行どおり実施していく。	
② 児童書講演会	全ての市民 と図書館利 用者	●	●	●	●	年1回開催 延参加者数 76人	参加者数	75	76	人	前年実績(H23年度) からの増加	300	300	児童書講演会委託 256	A	現行どおり実施していく。	
③ 図書館講座	全ての市民	●●	●●	●●	●●	年1講座(4 回)開催	参加者数	20	0	人	過去の一回あたりの 最高参加者数	100	60	図書館講座講師謝 礼0 (講師都合により講座 中止となったため)	A	現行どおり実施していく。	
④ 現代美術展	全ての市民 と図書館利 用者	●●	●●	●●	●●	年2回開催	来場者数	140	145	人	前年実績(H23年度) からの増加	300	254	ギャラリー企画展監 修等報償金40 ギャラリー企画展 出品協力者報償金175 印刷製本費39 損害保険料5	B	既存事業の見直し。	

事務事業 改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	④ 現代美術展	今後は、展示テーマ等検討し、コスト削減を図る。		ブックスタート

H25以降新規に実施する事務事業

事業番号	115	事業の名称	講座等企画事業	担当部署	部	課
					教育文化部	中央図書館

事業の目的・概要	(目的) 市民の教養、レクリエーション等に寄与するため生涯学習活動として講座等の企画事業を展開する。 (概要) 乳幼児から小学生を対象におはなし会を開催、一般を対象に講座、講演会、企画展示を開催。 おはなし会(毎月第2,3,4土曜日、毎月第1,3木曜日)、児童書講演会(年1回11/25開催) 図書館講座(年1回講座開催/24年度は講師都合により中止)、現代美術展(年2回10/6-21及び1/26-2/17開催)、中学生美術展(年1回12/12-24開催) 大学等連携事業(年2回11/14-18及び11/16,17開催)、閲覧室企画展示(年16回開催)	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	全国の公共図書館のほとんどで実施されている。

事業期間	事業開始年度	平成4年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	全ての市民と図書館利用者					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に寄与し、読書活動の推進を図る。					
総事業費						
総事業費 (単位:千円)		H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
うち		742	652	745	554	597
一般財源		742	652	745	554	597
国費・県費						
地方債						
受益者負担額		54	6	9	0	45

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価		
		手段 (いつ、どのような手段を使って)							H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
		4月~	7月~	10月~	1月~								H24目標値	H24予算			
⑤ 中学生美術展	全ての市民 と図書館利 用者				●	図書館に親しみ、市 民の教養、レクリエー ション等に寄与する。	年1回開催 延参加者数 52人	美術展への満足 度	81		%	前年実績(H23年度) からの増加	26	25	中学生美術展監修 用図書券10 中学生美術展参加 賞14	A	現行どおり実施していく。 事業費については、H25年度北中学校 新設のため、1校分増加とした。
									94			28	24		維持		
									90			30			増加		

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容	H25以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要